

摂食・嚥下障害患者に対する呼吸ケアのポイントと呼吸リハビリテーション

石川 朗 (神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域准教授)

2月度生涯研修講座抄録

1. はじめに
 昨年8月に日本呼吸器学会より、医療・介護関連肺炎 (Nursing and Healthcare-associated pneumonia : NHCAP) 診療ガイドラインが示された。この医療・介護関連肺炎の発生機序は、誤嚥性肺炎の場合が圧倒的である。本講演では、これらの肺炎の多くを占める摂食・嚥下障害患者に対し、歯科医として期待されている呼吸ケアのポイントと呼吸リハビリテーションについて解説する。

2. 医療・介護関連肺炎の定義は、①長期療養型病床群もしくは介護施設に入所している (精神病床を含む) ②90日以内に病院を退院した③介護を必要とする高齢者、身障者④通院にて継続的に血管内治療 (透析、抗菌薬、化学療法、免疫抑制薬等による治療) を受けている以上どの程度の状態に発症した肺炎とされている。また、この定義の中で、介護の基準とは限られた自分の身の回りこしかできない、日中の50%以上をベッドか椅子で過ごす、以上を目安とするべきである。したがって、摂食・嚥下障害患者に対する呼吸ケアと多くの歯科医にとって参考になれば幸いである。

日時 2月5日 (日) 午前10時〜午後1時
 会場 M&Dホール 定員 100人
 会費 会員3千円、未入会者1万円

第9回 関係閣僚や大阪選出議員に働き掛け

協会は2011年12月10日に開いた第9回理事会で、夏から取り組んできた「保険でよい歯科医療の実現を求める請願署名」が2万筆を超え、各地から集まった署名と合わせて20万筆を179国会に提出するなど運動が高まり、歯科医療改善の緊急性が国会議員の中にも広がってきたことに確信を持ち、診療報酬改定率をめぐる政治折衝が進む年末に向け、首相・厚労相・財務相などに適時要請することにした。

179国会に署名提出の紹介者となった地元議員は6人 (本紙12月15日付既報)。予算関連の請願は議員個人では受けないとしている民主党も2人の議員が協力し、共産党、社民党と合わせて3人会派から国会に提出された。

一方、12月1日の要請で署名を受け取った竹本直一衆議院議員は、提出していなかった。

協会は年末年始に議員が地元に戻っている機会をとらえて、大阪選出の衆参議員に懇談の機会をもち、患者負担軽減や診療報酬引き上げを要請していくこととした。

大阪府、大阪市に向けた運動では、ダブル選挙結果も受けて、府・市へ働きかけを強める。12月22日には恒例の府と協会

春夏秋冬

社会保障の充実

社会保障制度は名士の恩恵・救済から始まり、労働者相互の共済制度として国家の強制的な社会保障、更に国家責任を明確にした社会保障へと資本主義経済の進展と共に発展してきた。この発展には長い年月を要し、国民の絶え間ない闘争や要求活動により獲得できたものだ。社会保障とは、国民

が何らかの社会的な事故で生活が脅かされた時に、国の責任で所得保障、現物給付、各種サービスを受け正常な生活が営めるようにする制度だ。ところが近年、政府による連続的改悪により、この機能が

り下げ、また年金の引き下げや受益者負担増などにより、社会保障費の負担が国民に襲い掛かり、守るべき社会保障制度の維持が大きな苦しみになってきている。

50年前になるが憲法

絶え間ない運動の成果

が急速に失われてきた。改悪は、国の責任である個人の権利や生存権の保障を無視し、個人の生活面での自立を強要している。生活保護の切り捨て、労働者の非正規社員への切り替えや賃金の切

25条は「国家権力の積極的な施策に基づき国民に対して人間たるに値する生存を保障し、生存権の基本人権の保障に規定したものの一生存権は決して予算の有無によって決定されるものではない

のために、長年にわたる運動を展開している。その成果が少しずつ目に見えてきた。今までにないことだが、歯科医療関係の国会質問が増え、保険でよい歯科医療の請願署名にも多くの議員が紹介議

会費の減免制度

70歳以上は減額 75歳以上は免除
 休保・年金の掛け金払い込み中は適用外

15年以上継続して協会の会員であり、①満70歳以上の開業医会員の方は会費を減額 (5500円→3000円) ②満75歳以上の方は会費を免除となる制度があります。ただし、本人が協会の休業保障制度または保険医年金制度のいずれかの掛け金払い込み中は対象外となります。なお、会費免除となった先生方には『大阪歯科保険医新聞』のみをお届けし、協会発行書籍は配布していません。ご了承ください。本制度のお問い合わせ及び申請は、協会組織部まで。

お知らせ

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
 ファクス 06-6568-0564

パソコン記帳講座
 「弥生会計」を使った決算準備

日時 1月21日 (土) 午後2時30分〜5時30分
 会場 京橋・弥生カレッジCMC (JR「京橋」駅「南口」を出て右へJRの高架下をくぐり徒歩3分の「大発ビル」) 定員 25人
 講師 柄溝宗生氏 (税理士・協会顧問税理士団) 会費 5千円

アシスタントのためのバキュームテクニック

日時 1月21日 (土) 午後3時〜6時
 会場 とみもと歯科 (港区港晴) 定員 15人
 講師 富本昌之氏 (臨床学術部講師団) 会費 会員院所スタッフ5千円

1月度生涯研修

コンポジットレジン修復を極めるー理論からテクニックおよび器材選択のヒントまで

日時 1月22日 (日) 午前10時〜午後1時
 会場 M&Dホール 定員 100人
 講師 林美加子氏 (大阪大学大学院歯学研究科口腔分子感染制御学講座准教授) 会費 会員3千円、未入会者1万円

三島・北大阪地区合同

医科から見た誤嚥性肺炎ー医科歯科連携の視点から

日時 1月28日 (土) 午後6時〜7時30分
 会場 高槻市立生涯学習センター 研修室 (JR「高槻」駅徒歩7分、阪急京都線「高槻市」駅徒歩7分) 定員 50人
 講師 白川善純氏 (うえだ下田部病院勤務) 会費 会員無料、未入会者1万円

大阪市北部・東部・南部地区合同

有病者の歯科医療ーリフレッシュのためにー

日時 1月29日 (日) 午前10時〜午後1時
 会場 M&Dホール 定員 100人
 講師 連利隆氏 (兵庫県立柏原病院歯科口腔外科) 会費 会員無料、未入会者1万円

北河内地区

病気を持った患者の歯科治療ー血液疾患及び膠原病と口腔内病変

日時 1月29日 (日) 午前10時〜正午
 会場 OMM2階会議室 定員 50人
 講師 井上美佐氏 (守口市開業、北原病院院長) 会費 会員無料、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。